

事故回避情報

注意すべき実施事項		未実施で想定される事故
雑草木の除間伐		
* 作業	<ul style="list-style-type: none"> ・傾斜地は上下同時作業をしない。 ・除伐対象物を顺手(親指を下)でしっかり握る。 ・ササなどを刈った後は、すり足歩行。 ・休憩時に道具を放置しない ・傾斜地作業は足場をしっかり確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採木や岩石が落下して下方作業者に当たる。 ・逆手(小指を下)で持つと感覚が鈍り、指を切る。 ・尖った切り株を踏み抜いて足裏に突き刺さる。 ・他人が躓いて怪我をする(カマやナタ等)。 ・滑落による捻挫などの怪我。
竹の伐採		
* 作業	<ul style="list-style-type: none"> ・上下同時作業をしない。 ・竹の倒れる方向の前後に立たない。 ・枯れ竹の伐採は全方位に間隔を取る。 ・枝落としは、鋭角に切断しない。 ・傾斜地作業は足場をしっかり確保。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採竹や岩石が落下して下方作業者に当たる。 ・後側は倒れてくる竹に当たり、前側は反り返って裂けた根元部分が当たり怪我。 ・朽ちた先端が折れて想定外の方向に飛ぶ。 ・本体に残った枝の切り口で怪我。 ・滑落による捻挫などの怪我。
草刈り機		
* エンジン始動前	<ul style="list-style-type: none"> ・刈刃の取り付け ナットの緩み確認。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外れて飛んだ刈刃で怪我。
* エンジン始動	<ul style="list-style-type: none"> ・刈刃部分(先端)を浮かす。 ・周囲に人を近づけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石などの接触物の飛散。 ・振動による移動で刈刃による怪我。
* 作業	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴーグルの装着。 ・近接作業をしない(周囲5m以上の距離確保)。 ・刈刃に巻きついた異物除去はエンジン停止後。 ・傾斜地作業は足場を確認しながら進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛散した草木や小石が目に入る。 ・キックバックなどによる怪我。 ・稼動したままでは巻き込まれる。 ・転倒による怪我。
* 休憩と作業地移動	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンを稼動したままにせず、確実に停止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無意識で刈刃に接触して怪我。

チェーンソー

<p>* エンジン始動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・足でハンドルガード、片手で前ハンドルを固定し、スターターロープを引っ張る。 ・ソーチェーンを素手で触らない。 ・周囲に人を近付けない 	<ul style="list-style-type: none"> ・スターターロープと一緒に本体が浮いて、ソーチェーンが当たって怪我。 ・鋭利な刃で怪我。 ・ソーチェーンが当たって怪我。
<p>* 作業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴーグルの装着。 ・ソーチェーンに巻き込まれない服装。 ・基本姿勢を守る。 ・ガイドバー先端で切らない、異物に当てない。 ・追い口切りは、ツル 部分で一端止める。 一気に切断しない(ツルの役割を活かす)。 ・傾斜地の玉切りは、斜面と直角に倒木を置く。 (大径木で移動できずに平行で切る場合は、斜面上部に立ち、下方に注意して切る)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・飛散した木屑が目に入る。 ・ヒモや首のタオルの巻き込み ・不安定な足場や無理な姿勢による怪我。 ・キックバックしてガイドバーが跳ね上がり、顔などに当たって怪我。 ・予期せぬ方角に倒れる可能性や、急速に倒れる。 ・切断後の転動による怪我。
<p>* 休憩と作業地移動</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エンジンを稼動したままにせず、確実に停止。 	<ul style="list-style-type: none"> ・無意識でソーチェーンに接触して怪我。

カケヤ、斧の使用

<p>* 作業前</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・柄付け部分の緩みと、柄の劣化をチェック。 	<ul style="list-style-type: none"> ・先端が外れて飛ぶことによる怪我。
<p>* 作業 (杭打ち)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作業者の前に立たない(相当の間隔が必要)。 ・補助者が杭から手を離すまでは強打しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ” ・ 打ち損じた時は手に大怪我。

害虫		
* ハチ	<ul style="list-style-type: none"> ・黒色の服装を避け、襲われた場合は慌てふためいて逃げずに地面に伏せる。 ・確実に害虫名を叫んで避難を周知する『スズメバチ』等。しかし、咄嗟には発声し辛い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一度刺されて抗体が出来ていると、2度目はアナフィラキシーショックで死に至る場合もある。 ・『わぁー』だけでは、人の習性として『何やぁー』と周囲が逆に近付いて来る可能性もある。
* マダニ	<ul style="list-style-type: none"> ・首にタオル、腕は腕抜き、脚は脚絆（長靴は必ず足入れ口に絞り紐付きの物）などで、ダニの侵入を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マダニは6～10日間も吸血を続け、感染症（ウイルスを持ったマダニ）で死に至る場合もある。
* マムシ	<ul style="list-style-type: none"> ・手を地面に近づけたり、倒れた木の付近の作業に注意（事前に棒やカマで作業地を叩く）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他の蛇と違って攻撃的で逃げない。噛まれる。
作業		
* 夏季	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に水分補給。 ・" " 休憩。 ・体調の掌握・管理（夏バテ）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意識が鈍感になって要求しない場合、脱水症。 ・意識が鈍感になって疲労に気付かずダウン。 ・前日までの疲労蓄積などで予期せぬ事故。
* 冬季	<ul style="list-style-type: none"> ・体調の掌握・管理（特に低気温下での神経鈍化）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低気温下の血管収縮による心臓と脳の疾病。 ・加齢による想定外の反射神経低下による怪我。
注意喚起		
* 声掛け	<ul style="list-style-type: none"> ・大径木や竹の伐採、害虫など突発的な危険情報は大声で早く報せる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防げた事故も、移動や防御が遅れて思わぬ事故になる場合がある。
* 状況判断	<ul style="list-style-type: none"> ・危険情報を受けた時は即時対応する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽観的な自己判断（動かない）は事故に繋がる。
準備体操		
	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲と会話に夢中になって適当に済ませる人を見かけるが、軽んじないでシッカリ実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・捻挫、軽微な怪我程度で済めばよいが、骨折など大事故に繋がる可能性もある。

* 事故は未然に防ぎたいもの。当日作業に応じて該当項目を実施できるように身に付けましょう。

* “慎重”と“臆病”、“大胆(積極的)”と“無茶”は別のマインド。作業に当たっては、慎重且つ大胆に。

* “ひやりはっと！”の発生に応じて、順次項目を追加していきます。